

資産形成に対する一つの考え方

～安全資産とリスク資産の配分～

資産形成とは、資産が全く
ない状態から資産を築いて
いくこと

1.資産形成の元手は？

2.資産形成の手法は？



1. 資産形成の元手は？

1. 資産形成の元手は？

多くの人にとっては、職を得てからの
収入（給料）

- 収入を増やすことを考える
- 自分への投資（稼げる体质へ）

2. 資産形成の手法は？



2. 資産形成の手法は？

元手が給料 → コツコツ積み上げる

→ 一攫千金を狙う

一攫千金を狙う



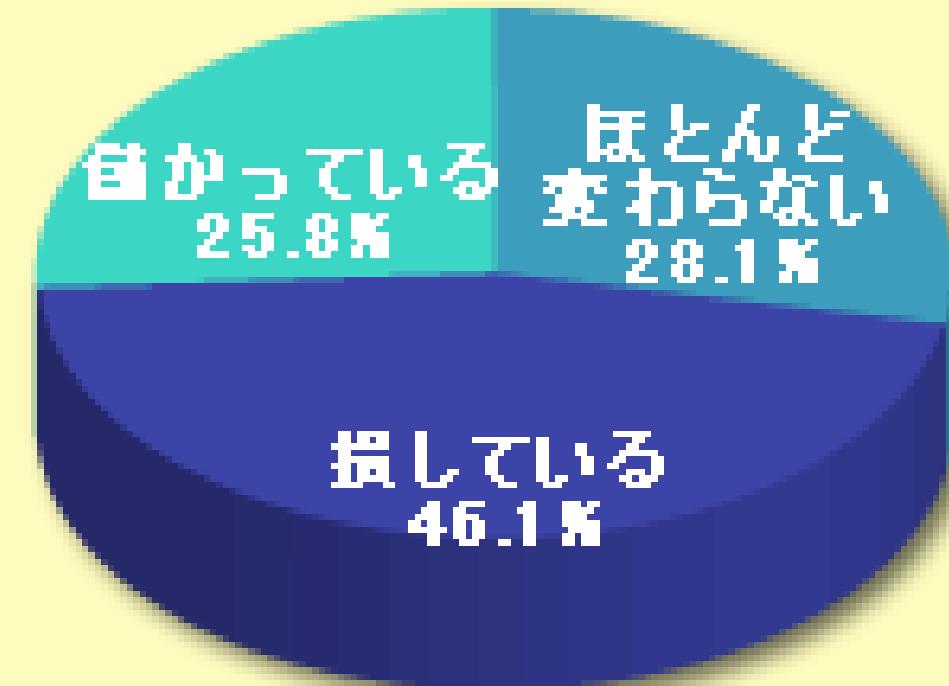
村上世彰（むらかみ よしあき）

小学校3年生頃には、すでに株取引のキャリアはスタートした。これは、父親が、月々の小遣いの支払いを廃止する代わりに、大学卒業までの小遣いとして100万円の現金を渡したことから端を発するもので、この資金を元手に、株式市場で小遣いを捻出していたとされる。大学卒業時には当初の100万円は1億円を超えたという。

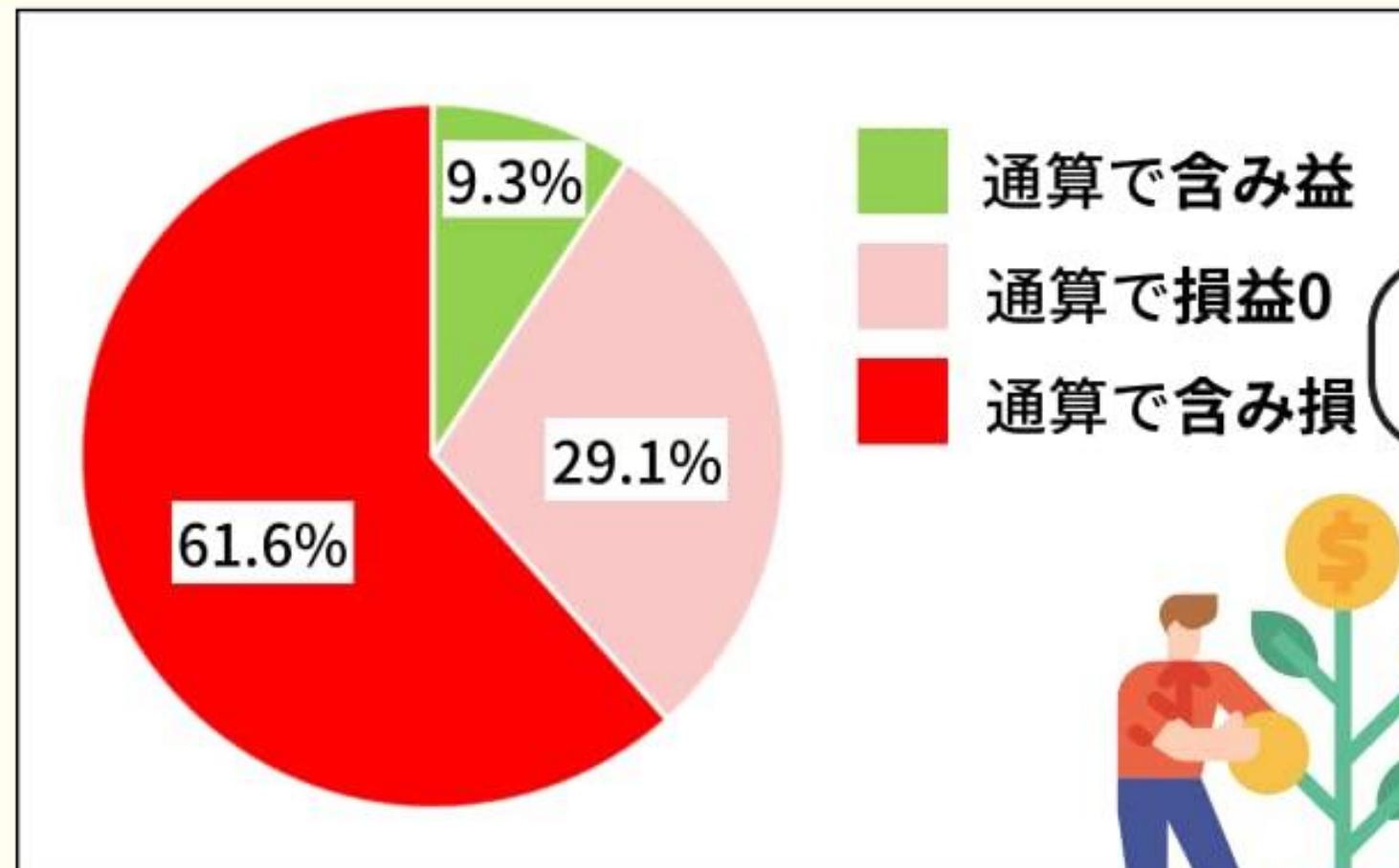
【現在、投資を行っていますか？】



【現時点で、投資の結果を教えてください。】



なぜ投資家の9割は負けるのか？



投資家の

9割は

利益なし

(投資家1,000人のアンケート結果)



「個人投資家で儲かっている人が1割しかいない、その理由は多くの個人投資家が少し儲かったら利益はすぐに確定してしまうのに、株を買って損失が出ても損切りができない、含み損を抱えた塩漬け株を抱え込んでしまうからです。さらに一般の買物と同じように『株価が割安なものを安い、お買い得』といって買う傾向も強いと思います。すなわち『塩漬け』『逆張り』『割安株投資』が初心者が躊躇やすい株式投資の罠といえるでしょう」

『塩漬け』
『逆張り』
『割安株投資』

銘柄選択が悪い
売り買いのタイミングが悪い

圧倒的な資金と情報を持つプロでさえ勝ち続けるのは難しいといわれる投資の世界で、資金や情報が乏しい素人が勝つことはほぼ不可能

冒険家でなければ一発勝負は避ける



コツコツと地道に積み上げる

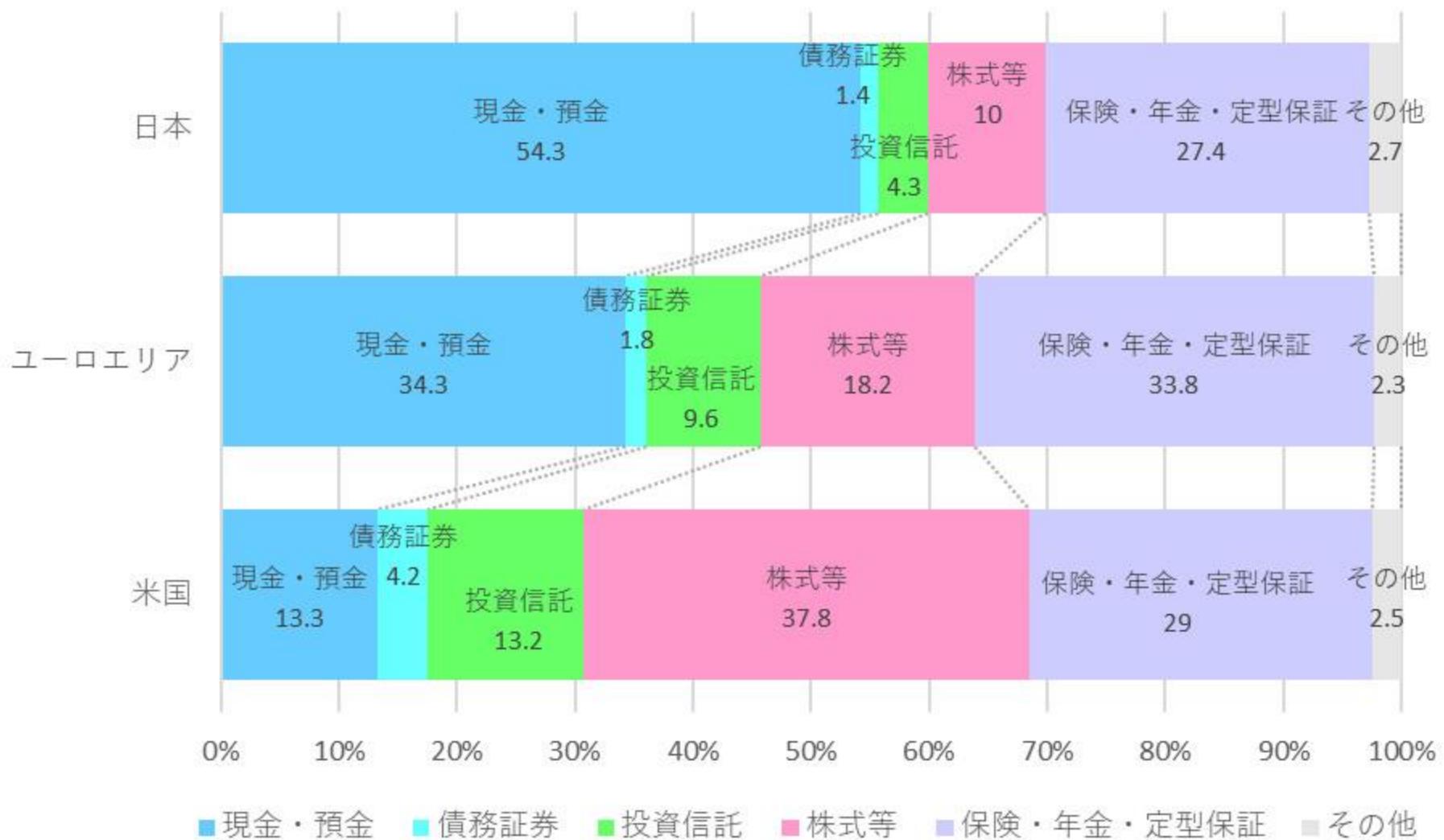
コツコツと積み上げる

何で

1. 賦金（現金）等の安全資産
2. 投資商品等のリスク資産

安全資産とリスク資産の比率は？

家計の金融資産構成



安全資産の比率
上：除保険系
下：含保険系

$$54.3/69.7=77.9\%$$

$$54.3+27.4=81.7\%$$

$$34.3/63.9=53.7\%$$

$$34.3+33.8=68.1\%$$

$$13.3/68.7=19.4\%$$

$$13.3+29.0=42.3\%$$

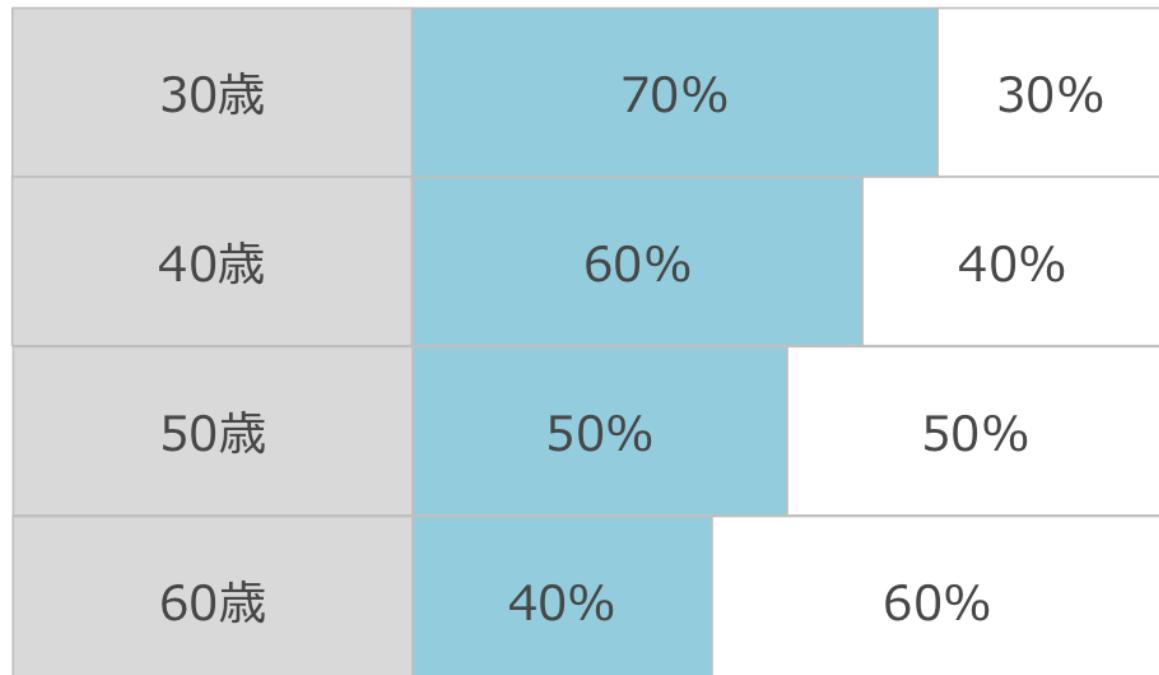
$$100 - (\text{年齢}) = \text{リスク資産 (株式) 配分比率}$$

この式は常に当てはまるか？
この式の理論的根拠は？

投資・現預金比率の目安

投資比率

現預金比率



では、安全資産とリスク資産の比率はどうするか？



山崎 元 やまざき はじめ

東京大学経済学部を卒業
三菱商事に就職。
以後12回の転職（→野村投信→
住友生命→住友信託→
シュローダー投信→バーラ→
メリルリンチ証券→パリバ証券
→山一証券→DKA→明治生命
→UFJ総研）を経て2005年より楽
天証券経済研究所客員研究員

山崎は、投資のリスクを考慮すると一般人が投資資金として許容できる金額は1000万円程度であろうと述べている。

これは、老後に年金収入や貯金の取り崩しを考えた時、一般の人であれば月1万円の損失（減収）なら耐えられるとの試算から、老後を30年とすると1万円×12ヶ月×30年=360万円が許容されるリスクであるとの考えに基づく。

インデックスファンドのリスクは30%程度（30%程度の損をする可能性がある）であることから、損害から元本を求めるとき $360\text{万円}/30\% = 1200\text{万円}$ となり1000万円程度の投資であれば、仮に損をしても月1万円ずつの収入減が30年続くことで損金を吸収し、生活に大きな影響を与えないと考えられるからである¹⁾。

65歳～95歳の30年間で毎月1万円の減収



×12ヶ月×30年（余命）=360万円

360万円／0.3（インデックスファンドのリスク）=1200万円



投資の目安は1000万程度

就職後定年まで約40年

40年で1000万作るには、
毎月約2万円必要

投資の一つの目安が1000万円



投資は毎月2万円が限度（目安）

では、何に投資するか？



ウォーレン・
バフェットは
こうして
**最初の1億ドルを
稼いだ**

若き日のバフェットに学ぶ最強の投資哲学

グレン・アーノルド × 岩本正明

資産8兆円超! 世界一の投資家が独自の勝ちパターンを掴むまで

**初期の20の銘柄で
培われた賢者の智慧**

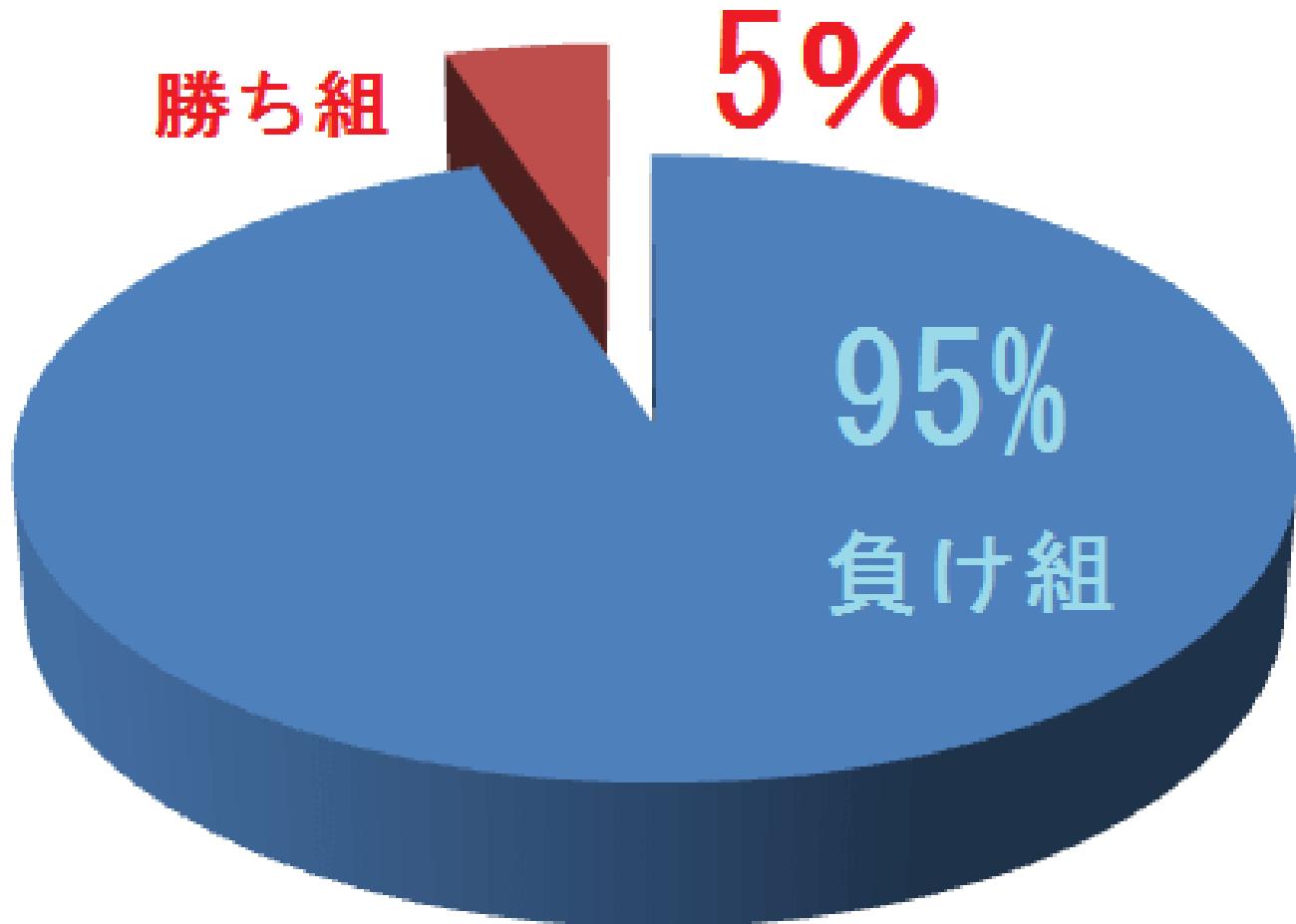
小さな利益にうっかり飛びくな／いくらで買うかは極めて重要だ／払ったお金に執着するな／

勝算が高いときは集中投資せよ／定性的な情報は足を使え／価格支配力を探索せ／売り急ぐな

ダイヤモンド社

115ドルから1億ドルへの軌跡

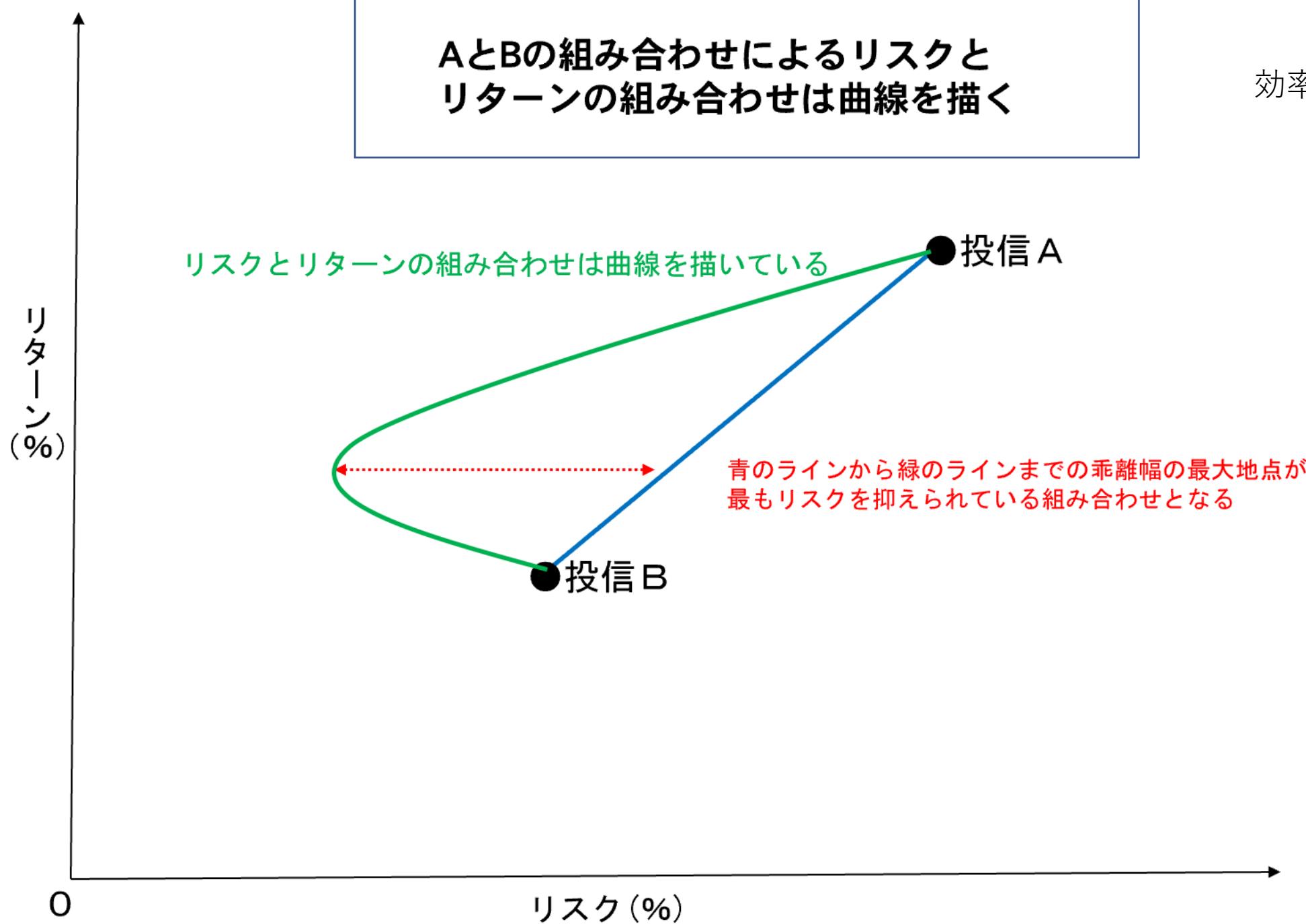
投資の神の 駆け出し 1万円から



素人は一発勝負は避ける！

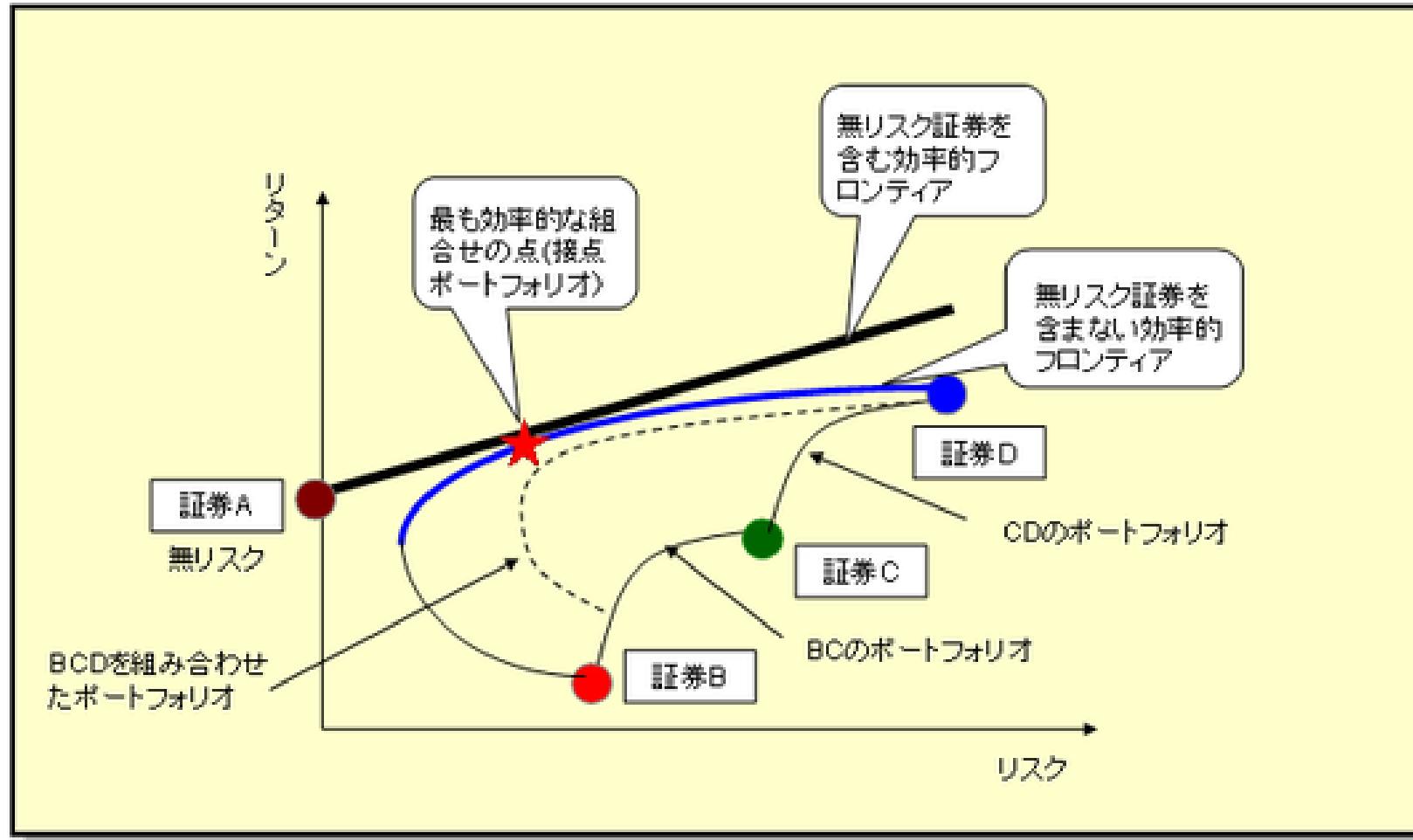
AとBの組み合わせによるリスクと
リターンの組み合わせは曲線を描く

効率的フロンティア曲線



効率的フロンティア

ポートフォリオの最適化



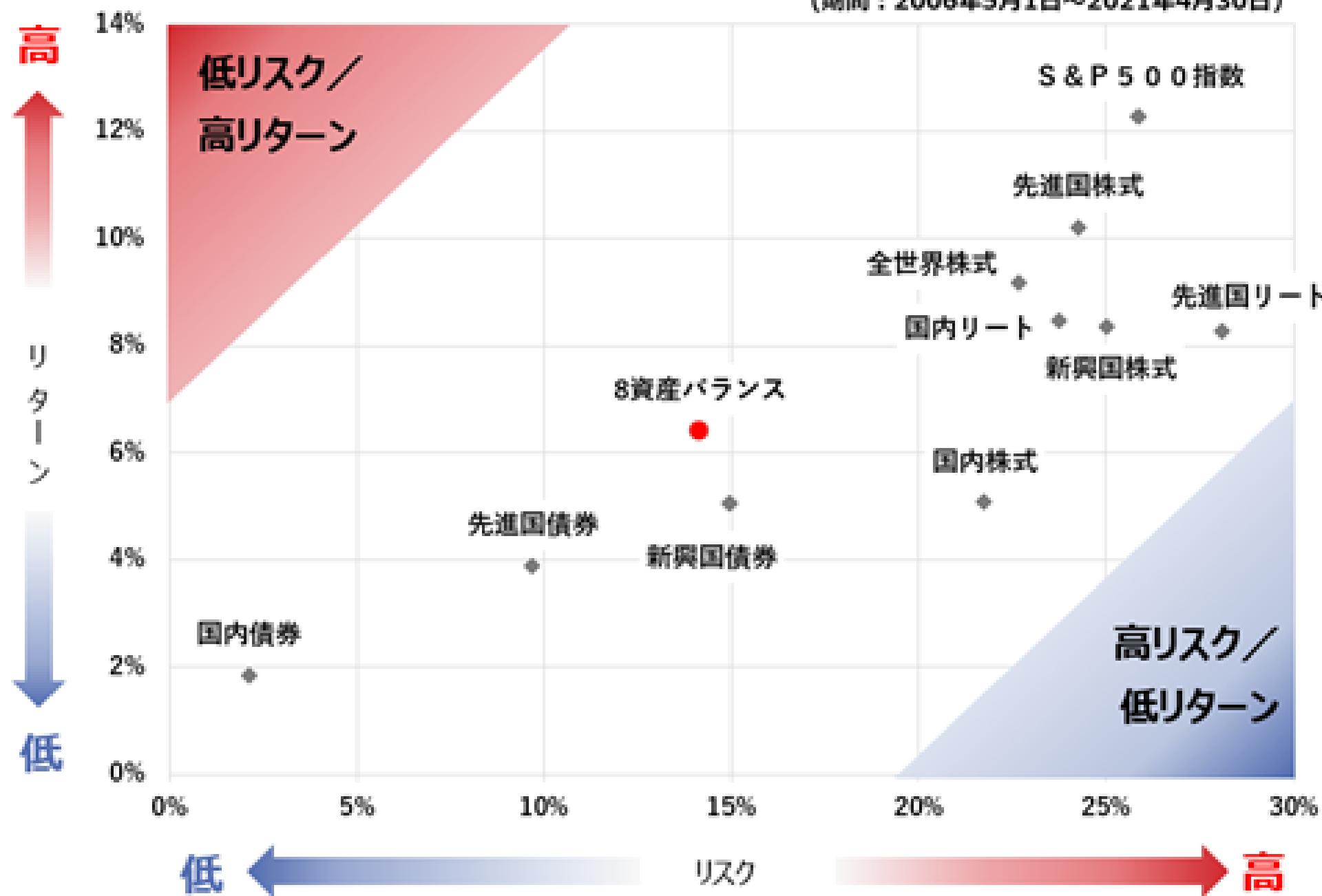
■ 「S&P500」に負けた大型株アクティブランドの割合

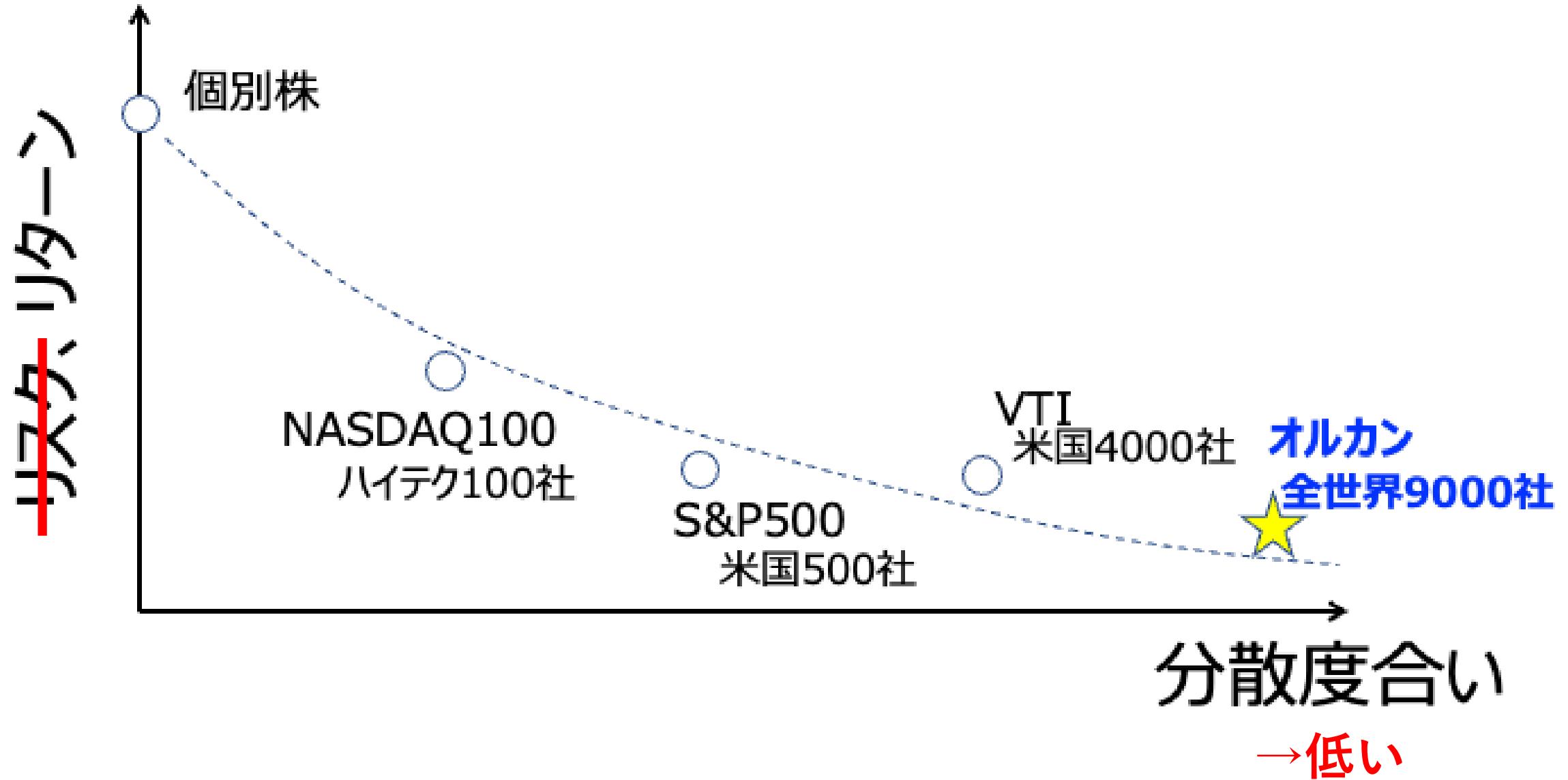
| 期間 | 負けたアクティブランドの割合 | | | | |
|------|----------------|--|--|--|--|
| 5年間 | 88.30% | | | | |
| 10年間 | 84.60% | | | | |
| 15年間 | 92.15% | | | | |

出典：[「SPIVA® U.S.Scorecard」（2016）](#) 注）クリックでPDFが開きます

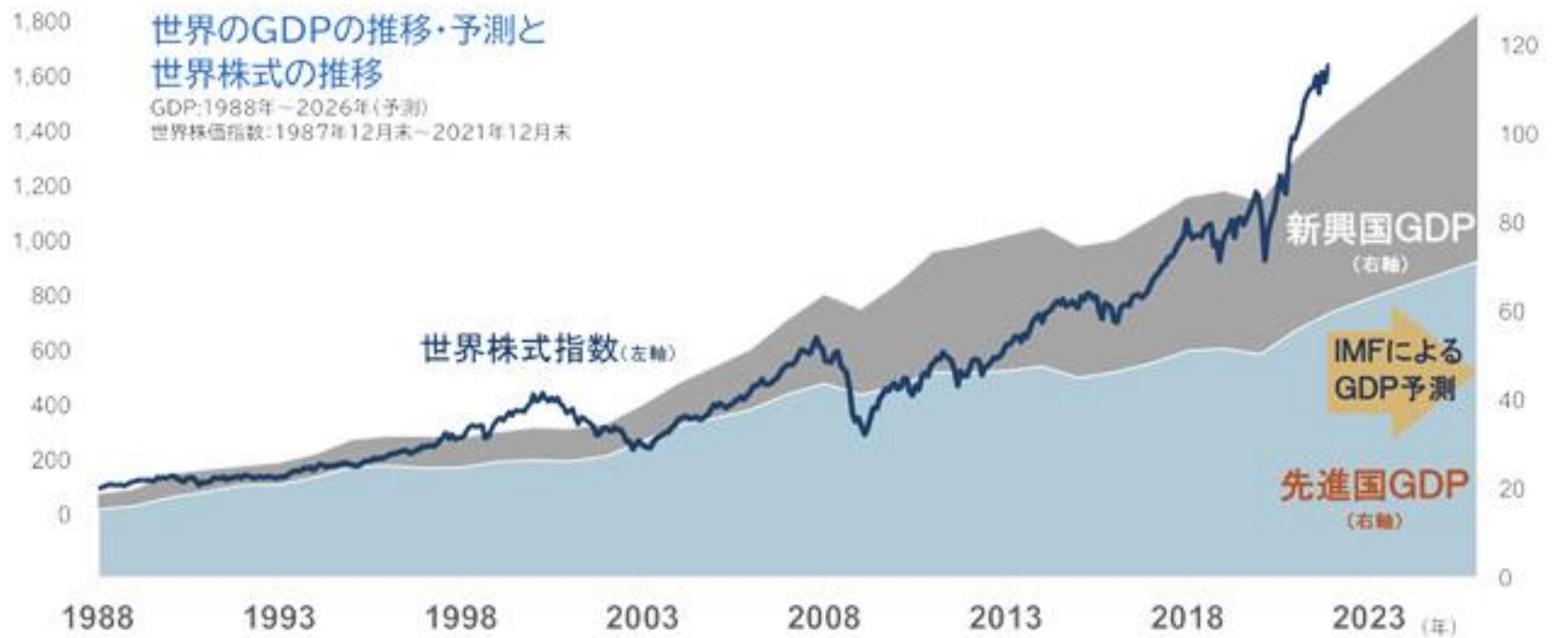
アクティブランドはインデックスファンドに勝てない

(期間：2006年5月1日～2021年4月30日)





指数はアップダウンしながら右肩上がり
時間を味方につける



IMF「World Economic Outlook Database, October 2021」および信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
世界株価指数は MSCI AC ワールド指数(配当込、米ドルベース)

※グラフ・データは過去のものおよび予測であり、将来の運用成果等を保証するものではありません



人間の欲には際限がないから、経済は右肩上がりだったし、今後もそうに違いない

TOPIXの推移

91年5月以来の大台回復

■TOPIX(東証株価指数) - 直近値



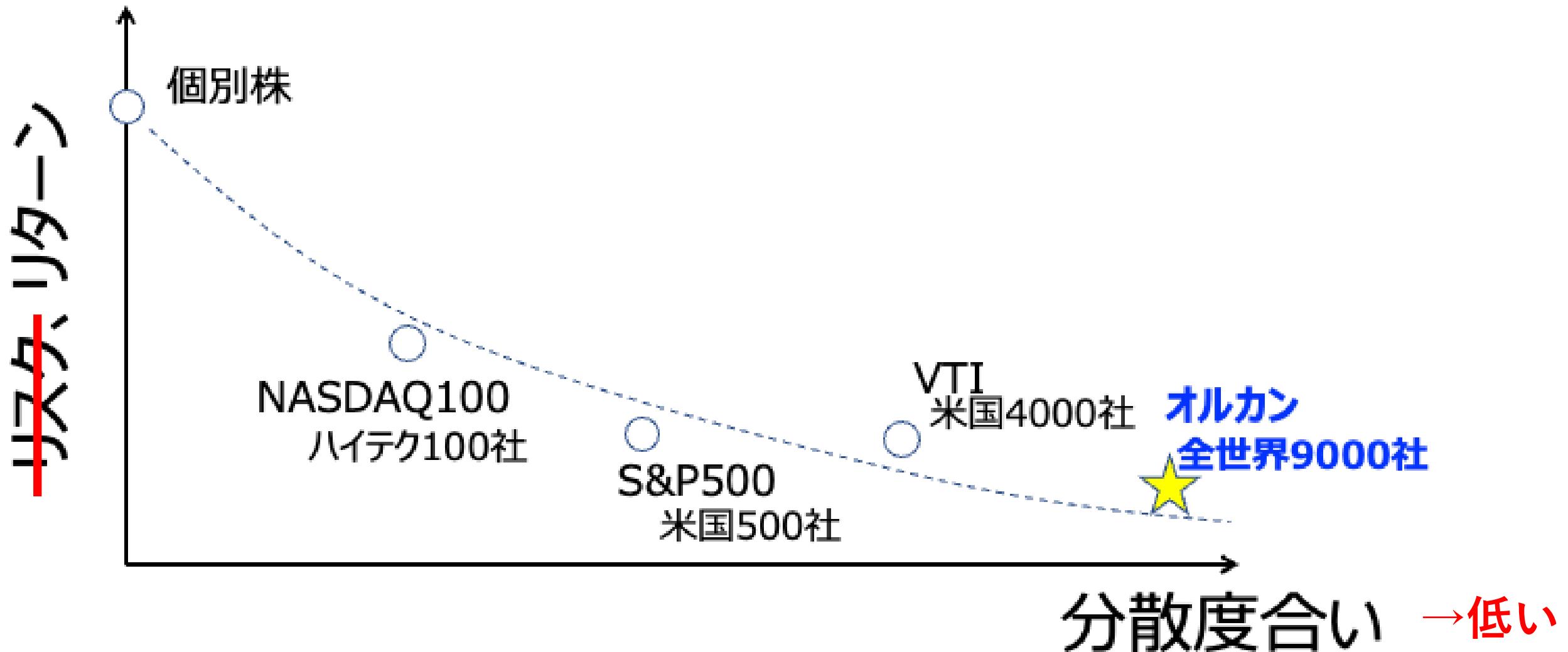
Source: ブルームバーグ

今後、時間が味方になるかは？
今後も経済は右肩上がりになる根拠はある？

図表2 各インデックス（円ベース、配当込）の推移とパフォーマンス評価



月2万円 インデックス型の投資商品



投資は月2万円（年24万円）をめどに
インデックスファンドで運用

時間を味方につける

安全資産はどう作るか？

山崎は、一般の人の資産運用商品は
インデックスファンドと個人向け国債（変動 10 年）で十分と述べている

個人向け国債の商品性の比較

| 商品名 | 変動金利型10年満期 変動10 | 固定金利型5年満期 固定5 | 固定金利型3年満期 固定3 |
|----------------------|--|----------------------------|----------------------------|
| 満期 | 10年 | 5年 | 3年 |
| 金利タイプ | 変動金利 | 固定金利 | 固定金利 |
| 金利設定方法 ¹⁾ | 基準金利 × 0.66 ²⁾ | 基準金利 - 0.05% ³⁾ | 基準金利 - 0.03% ³⁾ |
| 金利の下限 | 0.05% | | |
| 利子の受け取り | 半年毎に年2回 | | |
| 購入単位 (販売価格) | 最低1万円から1万円単位 (額面金額100円につき100円) | | |
| 償還金額 | 額面金額100円につき100円(中途換金時も同じ) | | |
| 中途換金 | 発行後1年経過すれば、いつでも中途換金可能 ⁴⁾ 直前2回分の各利子(税引前)相当額 × 0.79685 が差し引かれます。 | | |
| 発行月 (発行頻度) | 毎月 (年12回) | | |

金利は半年ごとに見直し → 金利変動についていく

1万円から購入可能 → 敷居が低い

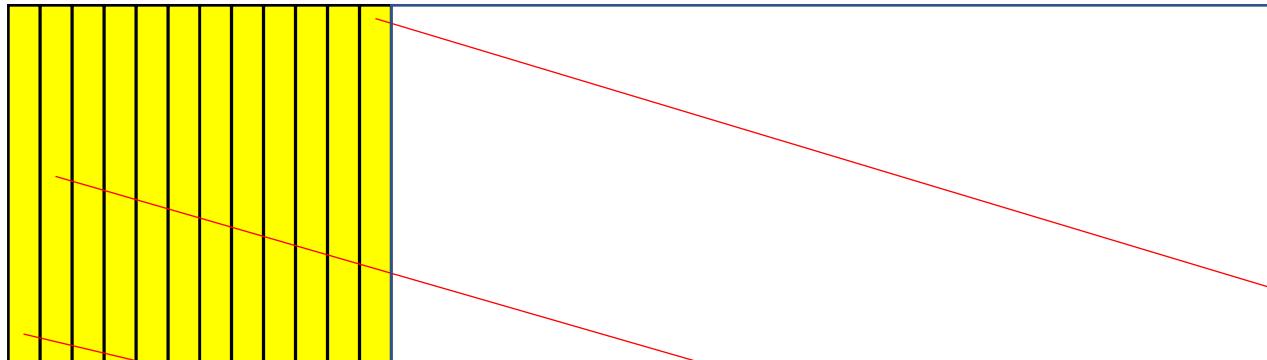
毎月発行 → 每月積み立てられる
但し、自動積立や自動更新機能はない
自分で設計した10年確定年金が作れる

国が発行・保障 → リスクはほぼゼロ

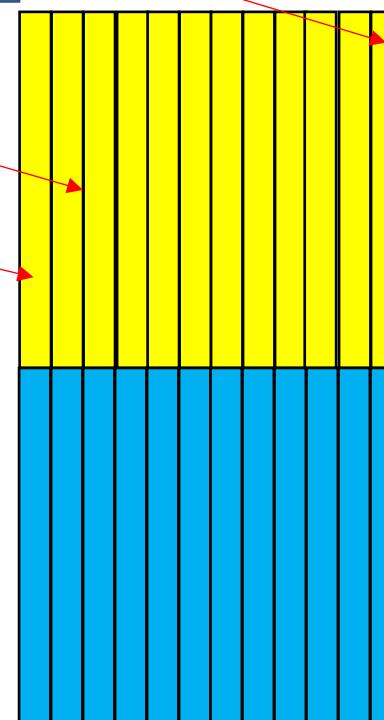
10年国債を利用して自分年金を作ろう

ひと月 2 万円 1 年

これを 10 年間継続



11年目



ひと月 2 万円

20歳
～
30歳



2万円×12ヶ月×10年=240万円



30歳
～
40歳



480万円（2万円+2万円=毎月4万円の買付

40歳
～
50歳



720万円（4万+2万）



960万円（6万+2万）

50歳
～
60歳



国債を毎月2万円ずつ買い付けると40年で1000万円近くなる

毎月 2 万円ずつ 10 年変動国債を購入

10 年後から戻ってくる元本に 2 万円を追加
して同じように積み立て

これを 40 年繰り返す

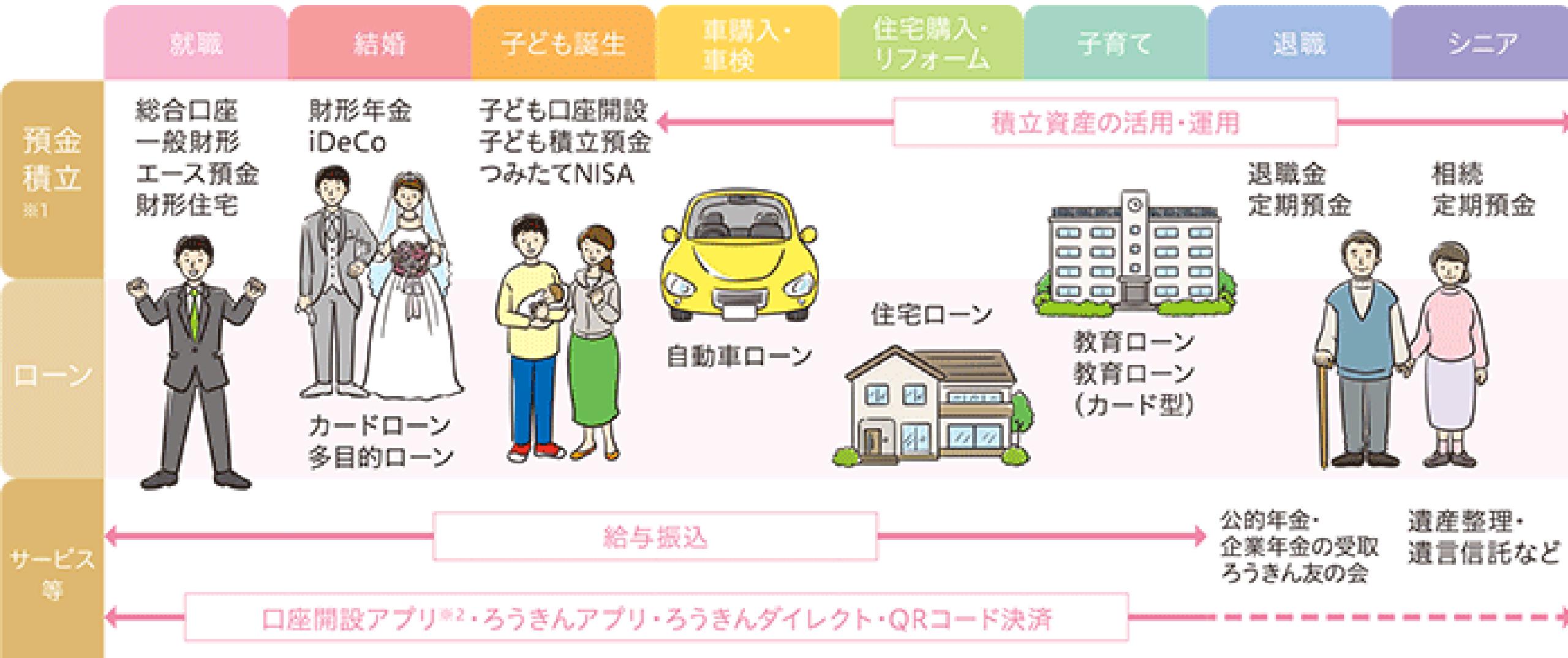
40 年後から、毎月 8 万円ずつ 10 年間受け
取れる自分年金が完成

- ・毎月 2 万円の投資（リスク資産）
- ・毎月 2 万円の 10 年変動国債の購入（無リスク資産）

で 40 年で 2000 万円程度の資産が形成される

毎月の積み立てが難しい場合は、ボーナスからの積み立てを検討

ライフステージに応じたろうきんの活用(イメージ)



お金に関するセミナーやご相談でマネープランを生涯にわたりサポート

*1 「国債」や「投資信託」などの運用商品については、お近くのろうきんにお問い合わせ下さい。

*2一部ろうきんでは取り扱っていません。お取引のろうきんのホームページでご確認下さい。

お金を貯めるための工夫

1. 知らないうちに貯まるように工夫する
 - ・自動引き落とし、定期買付、積立定期等の利用
2. 目的に応じてお金を分けて管理する
 - ・銀行口座の使い分け
3. 大まかで構わないから収支を把握する
 - ・資産管理アプリの利用
 - ・支払いをクレジットカードに集中させる
基本的な生活費のカードとそれ以外の出費のカードの2枚を使い分ける

まとめ

1. まず自分へ投資して収入をふやせるようにする
→資産運用よりも効果が大きいと思われる
2. 資産運用においては、安全資産とリスク資産のバランスを考える
黄金比率はないが、一つの考え方としてリスク資産への投資は月2万円程度を目安にする
3. リスク資産としてはインデックス型のファンドやETFを検討
4. 安全資産の形成には10年変動国債が選択肢として検討
→10年確定の自分年金
通常の積立定期預金でもOK
知らないうちに貯まることが大事
5. 目的に応じて銀行口座等を使い分ける
6. 資産全体の把握と、月々の収支の把握をする